

# 年頭にあたって

明けましておめでとうございます。希望に満ちた新春を迎え、皆様方の御健康と御多幸をお祈りいたします。

さて、昨年を振り返る時、正に一瞬のうちに過ぎ去った感がいたします。これもグローバル社会の時代、全てが地球規模の中で考えます。これが決断、実行して行かなければならぬい変化の激しい社会が定着したからと思います。

こうした時ですが当村では冬の雪、春の遅霜、秋の台風の被害も少なかつた訳ですが、干し柿の乾燥過程に於いて、異常気象の影響で被害が発生しました。これから課題と考えます。



## 下條村の更なる躍進を目指して

下條村議会議長 村 松

積

より、道路・農道・水路等の整備を村民自らの手で行い財政に寄与された事、更に無駄を省いて地方債の繰上償還の長年に渡る成果が出て、村民の皆さんのが頑張りと協力によって成し得たものであります。

現在においても健全な財政運営を行い、また、少子化・人口増・若者定住・福祉対策・出生率向上等、魅力ある村づくりを推進してきました結果、各方面から、非常に高い評価を受け、昨年末までに全国から五百余の各自治体から視察団が相次いで訪れて来ています。

まだまだ地方公共団体を取り巻く環境も、非常に厳しい状況にあり、行政改革を基本として、様々な見地から、支出の無駄の削減等、克服すべき課題は山積みされています。

しかし、厳しい財政状況であるとも、村民の皆さんにとって、本当に必要な施設、住民サービスが展開される事が我々議会人として、

新年あけましておめでとうございます。

平成二十八年の輝かしい新春を迎えて、村民の皆様に議会を代表して謹んで念頭のごあいさつを申し上げます。また、日ごろは議会活動に対し陰に陽にご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

国・県に於いても、非常に厳しい財政状況の中、当條村では、昨年の十大ニュースにおいて紹介されていますように、平成二十六年決算での借金返済の重さを示す、実質公債費比率で前年度を一・〇で、全国の市区町村で初めて山間地のこの小さな村が全国第一位となり、これも村の資材支給事業に

## 希望をもつて羽ばたく年に

下條村長 伊藤喜平



さて、昨年は当村にとって記念すべき年がありました。

十月一日に総務省よりの通知にて、全国一七四一の市・区・町・村の中で財政の健全度を示す指数(実質公債費比率)が全国一位になつたとの発表がありました。

これは全村民の皆様が今日までの永きに亘り前向きの努力、国、県を含めて多くの皆様の御協力があればこそと心から感謝いたしました。

こうした成果を基に、人口減少社会が続く中、子育て支援、ふる里づくりの基本となる教育環境の充実、長寿化社会の到来の中で安心して生活出来る解り易い支援に積極的に取組んで参ります。

地形等の関係で、当地方の道路事情がおくれておりましたが、関係する皆様の御努力にて、状況の変化が見られる様になりました。「天竜公園阿智線」も今年三月三十日に全面開通となります。又、国道一五一号の粒良脇トン

ネルも地盤が脆弱の所で苦労されました。天竜川架橋も平成二十九年には供用開始が見込まれます。最大の難関である青崩トンネル工事も着工しております。又、三遠南信自動車道も、最大の難関である青崩トンネル工事も着工しております。

天竜川架橋も平成二十九年には新幹線工事も。山梨県と長野県側間の南アルプストンネル(二十五km)も日々に本格工事に着工いたします。

これ等のトンネル工事から排出される掘削土を「道の駅」下方の洞に埋め、出来あがる広大な地形を活用しての新しい開発にもつなげて参ります。

激しく変化する社会の中、正確なる未来に向かつて誤り無き様進んで参りたいと思っています。

今年一年、皆様方には御健勝で

し新年のあいさつといたします。